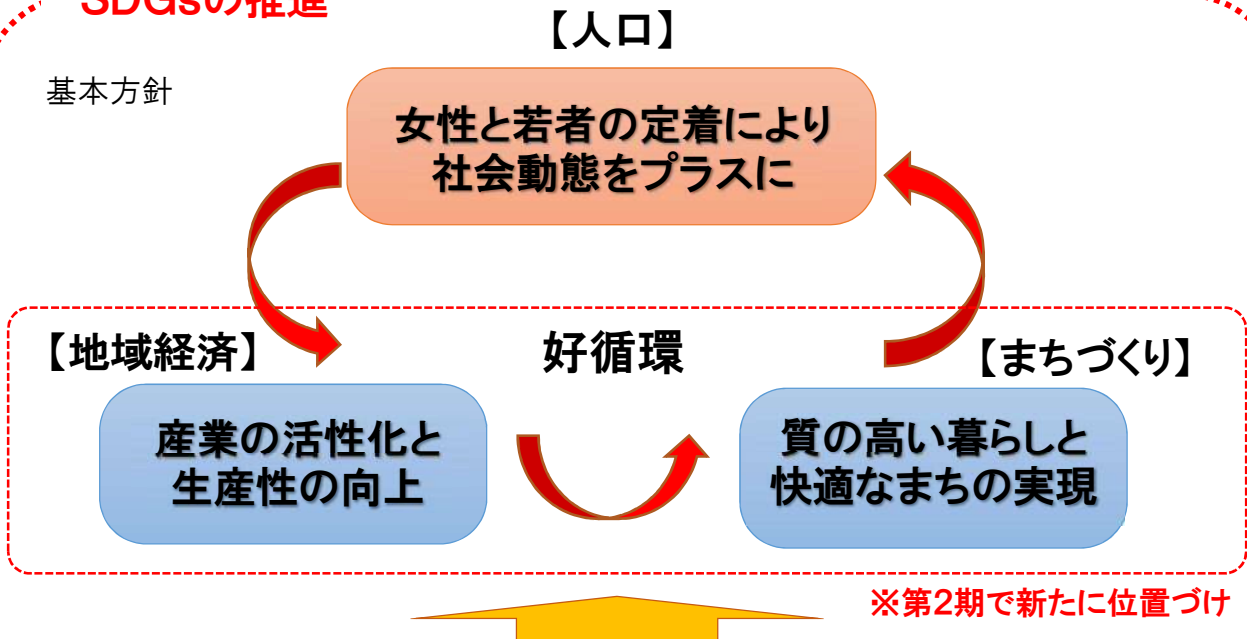


第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

策定のポイント

- 社会動態(転入と転出の差)は改善傾向にあるが、依然として若い世代の転出が顕著であるため、「**女性と若者の定着により社会動態をプラスに**」という第1期の基本方針は堅持
- 「**SDGsを原動力に**地方創生の『成功モデル都市』を目指す」ことを基本方針に位置付け
- 働き手の減少や産業構造の変化等を踏まえ、新たに、「**産業の活性化や生産性向上という地域経済の視点**」、「**質の高い暮らしと快適なまちの実現に向けたまちづくりの視点**」を明示
- 人口・地域経済・まちづくりの課題に一体的・重点的に取り組み、好循環を生み出す社会を目指す

SDGsの推進



具体的な施策

I しごとの創出

- ・市内企業への就職促進
- ・新たな働き手の確保
- ・地域経済活性化の推進

II 新しいひとの流れ

- ・定住・移住の促進
- ・観光・イベント等を通じた「関係・交流人口」の創出・拡大

III 女性活躍、若い世代の結婚・出産・子育て

- ・女性の就業促進
- ・子育てしやすいまち

IV 住みよいまちづくり

- ・都市ブランドの構築
- ・地域間連携
- ・コンパクト・プラス・ネットワーク

(7) 第2期総合戦略【2021改訂版】の方向性

ア 新型コロナウイルス感染症拡大を契機とした変化

新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会状況が大きく変化している。少子高齢化や東京一極集中といったこれまでの構造的課題に加え、医療提供体制や都市の過密といった感染症対策のリスク、デジタル化・オンライン化の必要性といった新たな課題が明らかになった。また、特にテレワークといった場所にとられない柔軟な働き方が広がり、首都圏の若い世代やIT関連企業の地方への関心が高まるなど、企業や個人の意識や価値観に変化が生じている。

イ 改訂のポイント

第2期総合戦略の改訂にあたっては、新型コロナウイルス感染症によって明らかになった課題やトレンドを踏まえ、強化を図ることとする。

まずは、感染症を契機とした地方への関心の高まりを地方への大きな流れにつなげていくために、感染症対策や地域経済の下支えに注力すると同時に、ポストコロナの新しい時代を見据え、若い世代に向けた戦略的な情報発信を行う。また、国全体で2050年のカーボンニュートラルを目指すことを示したことを受け、環境と経済の好循環による、脱炭素社会の実現に向けたグリーン成長の推進を図る。

具体的には、基本方針の下に、「脱炭素社会の実現」を位置付け、「地域経済」「まちづくり」との好循環を生み出すことで、脱炭素社会の実現に向けた取組を地方創生の一層の充実・深化につなげていくとともに、以下の5つの視点で具体的な施策や事業を強化する。さらに、新たに「デジタル技術の活用」を横断的な視点に加え、ウィズコロナ・ポストコロナ時代に対応した地方創生の取組を展開していく。

【強化に向けた5つの視点】

- 1 環境と経済の好循環による、脱炭素社会の実現に向けたグリーン成長の推進
- 2 デジタルトランスフォーメーション（DX）推進による質の高い社会の構築
- 3 柔軟な働き方や暮らしの実現による、企業や人の新しい流れの創出
- 4 地域経済の下支えと雇用の維持
- 5 感染症対策を始めとする、危機に強く安心して暮らせる「共生のまち」の実現

【横断的な視点に追加】

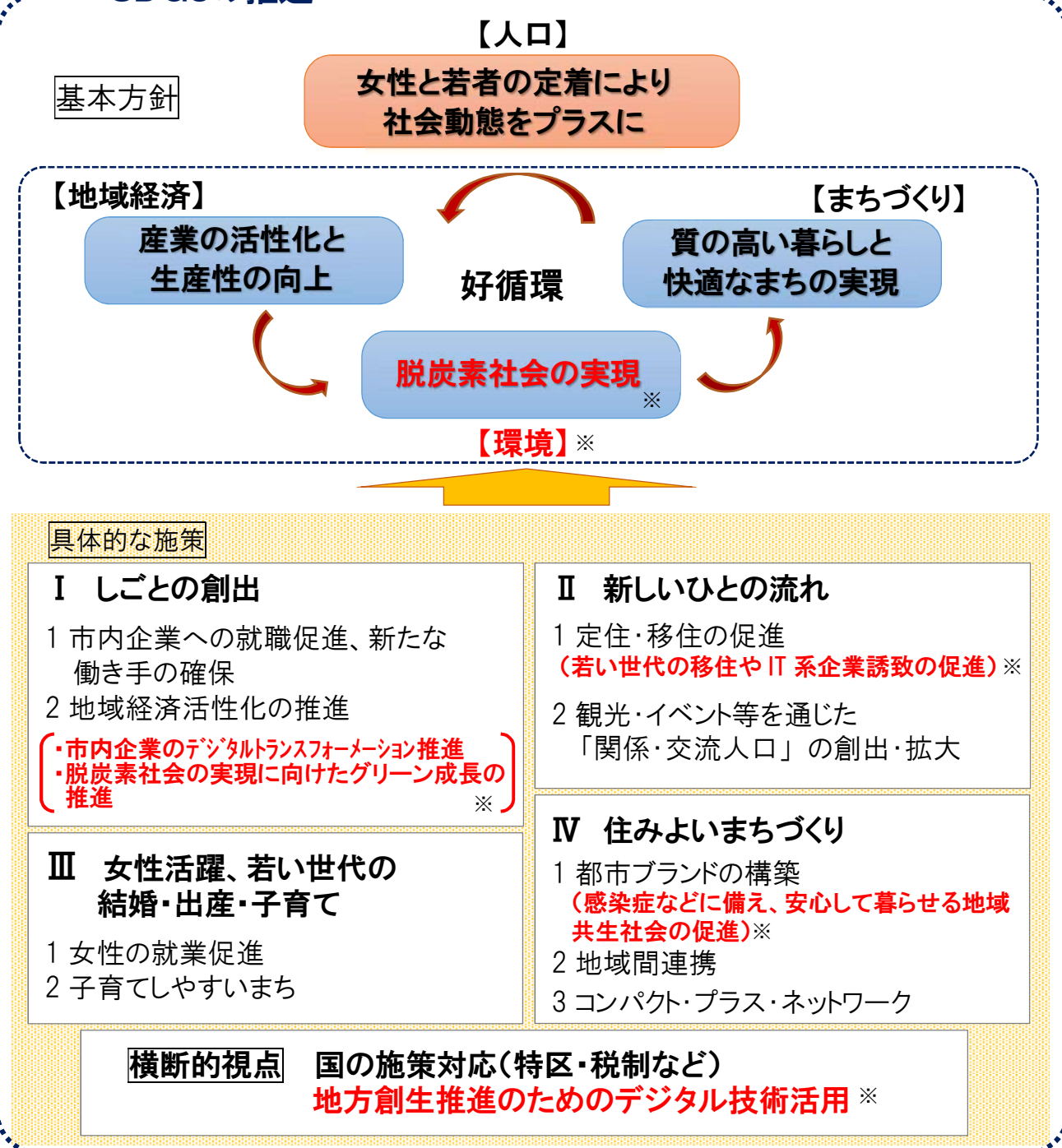
- ・地方創生推進のためのデジタル技術活用

第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略【2021改訂版】の概要

ポイント

- 新型コロナウイルス感染症拡大によって、明らかになった課題、新しいトレンドを受け、**ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えて戦略を強化**
- 基本方針に、新たに「**脱炭素社会の実現**」を加え、人口・地域経済・まちづくり・環境の課題に一体的・重点的に取り組み、SDGsを原動力とした持続可能な社会を目指す
- **デジタルトランスフォーメーション(DX)推進による質の高い社会の構築**を目指すことを、横断的な視点として位置付け

SDGsの推進



(※)改訂版で新たに位置づけ

基本目標Ⅰ「北九州市に魅力あるしごとをつくり、安心して働けるようにする」



数値目標	目標値 (R6年度)
市内企業への新卒就職者数	4,600人
市内新規雇用者数	累計30,000人
企業誘致による新規雇用創出数	累計4,000人

具体的な施策・KPI (抜粋)

若者の市内企業への就職促進

- ・市内大学との連携によるインターンシップの推進や市内企業と若者の出会いの場の創出
- ・早い段階からの職業観の醸成や将来の市内企業への就職に向けた取組の推進

【KPI】

市内大学生の地元就職者数
インターンシップ参加者数
市内企業へのU・Iターン就職者数

中小企業の生産性向上・事業承継推進

- ・中小企業の経営力強化及び技術力・販売力の向上を図る
- ・DXを推進し、市内企業の生産性向上を推進

【KPI】

先端設備等導入計画認定件数
事業承継、M&Aの承継企業数
DX導入企業数

創業支援

- ・産・学・官・金連携のスタートアップ支援
- ・リノベーションまちづくりの推進による都市型新産業の創出

【KPI】 創業件数

若者の雇用創出・拡大につながる企業誘致

- ・新しい働き方を推進し、研究開発分野等の本社機能等の移転を推進
- ・IT関連企業の地方拠点強化に向けた誘致

【KPI】

本社機能等やIT関連企業の誘致による雇用創出数

基本目標Ⅱ「北九州市への新しいひとの流れをつくる」



数値目標	目標値 (R6年度)
移住希望者数 (お試し居住参加者数)	毎年50人以上
外国人観光客数	70万人 (※)
北九州空港利用者数	200万人 (R6)

具体的な施策・KPI (抜粋)

※ 北九州市観光振興プラン更新時に新たな目標数値を設定する予定

定住・移住の促進

- ・メディアと協力して本市の魅力ある情報を首都圏等に積極的に発信するほか、本市への転入希望者を応援する仕組みづくりを推進
- ・新しいライフスタイルへのニーズに対応しながら、本市の「住みよさ」の情報発信や移住支援の取組を継続

【KPI】

北九州市の魅力度
20～30歳代の社会動態の増加数

「関係・交流人口」の創出・拡大

- ・テレワーク等により市内の仕事を複業・兼業する仕組みを構築
- ・本市の暮らしや食等を体験するワークショップを実施し、関係人口を拡大

【KPI】

複業・兼業のマッチング件数
KitaQサポーター登録者数

観光客増に向けた取組

- ・大規模な国際会議やイベント、国内外クルーズ船の誘致等の推進により、ひとの流入やにぎわいを創出

【KPI】 観光客数・宿泊者数

北九州空港のさらなる路線誘致・集客

- ・北九州空港の利用者数の増加に向けた航空ネットワークの充実強化
- ・インバウンドをはじめとした市内の交流人口の増加や消費拡大・賑わい創出

【KPI】 北九州空港利用者数

基本目標Ⅲ「女性の活躍を推進し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」



数値目標	目標値 (R6年度)
ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業	累計1,600社
合計特殊出生率	政令市トップクラスを維持
「子育てしやすいまち」と感じる市民(子育て世代)の割合	90%以上

具体的な施策・KPI (抜粋)

女性活躍施策の充実

- ・就職、キャリアアップ、子育てとの両立、創業などをワンストップで支援し、女性の就業環境づくりを推進

【KPI】

25～44歳の女性の就業率
ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数

ダイバーシティ経営モデルの構築

- ・女性活躍、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業への支援や企業の働き方改革を後押し

【KPI】

北九州イクボス同盟加盟企業数

結婚・妊娠・出産・子育て・教育までの一貫した支援

- ・子育て世代包括支援センターの活用、保育や地域の子育て支援の量の拡大・質の向上による待機児童対策の推進
- ・結婚を希望する若者へのきめ細やかなサポート
- ・子どもたちの確かな学力や体力、豊かな心を育む教育環境の整備

【KPI】

待機児童の解消
(保育所待機児童数・放課後児童クラブ希望児童受け入れ)
全国学力・学習状況調査結果
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

基本目標Ⅳ「時代に合った魅力的な住みよいまちをつくる」



数値目標	目標値 (R6年度)
「本市に住んでよかった、ずっと住み続けたい」と答えた市民の割合	90%以上
「本市への誇りや自信がある」と答えた市民の割合	80%以上

具体的な施策・KPI (抜粋)

シビックプライドの醸成

- ・本市の誇れる資源や文化承継の取組の推進により、市民の本市への誇りや愛着を育む
- ・地域課題解決に向けた人材の育成

【KPI】

「本市が好き」と答えた市民の割合
北九州SDGsクラブの会員数・プロジェクト数

文化芸術による創造都市・北九州の発信

- ・市内の文化的素材を活かした多彩な文化芸術事業の取組により、創造都市としての魅力を発信
- ・フィルム・コミッションの活動の推進

【KPI】

文化芸術を「身近に感じることがある」と思っている市民の割合
海外作品来北撮影・ロケハン件数

安全・安心なまちづくりと地域防災の充実

- ・本市のイメージアップを図るため、安全・安心に関する取組を市内外に発信

【KPI】

「安心だ(治安がよい)」と思っている市民の割合
防犯パトロール活動への参加者数
消防団員の充足率

持続可能な地域商業拠点づくり

- ・まちなかでの新規出店や中小小売・サービス事業者の経営改善を推進
- ・商店街等が地域コミュニティの担い手として行う取組を支援

【KPI】

主要商業エリアにおける新規出店数
主要商業エリアにおける空き店舗率

第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略 体系図 (令和2年度～令和6年度)

基本方針

産業の活性化と
生産性の向上

質の高い暮らしと
快適なまちの実現

脱炭素社会の実現

女性と若者の定着などにより社会動態をプラスにしていき、SDGsを原動力に地方創生の「成功モデル都市」を目指す

基本目標

I 北九州市に魅力あるしごとをつくり、安心して働けるようにする

- ◆市内企業への新卒就職者数:4,600人
- ◆市内新規雇用者数:累計30,000人
- ◆企業誘致による新規雇用創出数:累計4,000人

II 北九州市への新しいひとの流れをつくる

- ◆移住希望者数(お試し居住参加者数):毎年50人以上
- ◆外国人観光客数:70万人(R1(年次)北九州市観光振興プラン更新時に更新し)
- ◆北九州空港利用者数:200万人(R6年度)

III 女性の活躍を推進し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業:累計1,600社
- ◆合計特殊出生率:政令市トップクラスを維持
- ◆「子育てしやすいまち」と感じる市民(子育て世代)の割合:90%以上

IV 時代に合った魅力的な住みよいまちをつくる

- ◆「本市に住んでよかった、ずっと住み続けたい」と答えた市民の割合:90%以上
- ◆「本市への誇りや自信がある」と答えた市民の割合:80%以上

具体的な施策とKPI

1 市内企業への就職促進、新たな働き手の確保

- (1)若者の市内企業への就職促進
 - ・市内大学生の地元就職者数
 - ・インターンシップ参加者数
 - ・市内企業へのUターン就職者数
- (2)中高年齢者の就業支援
 - ・中高年齢者の就職者数

2 地域経済活性化の推進

- (1)創業支援
 - ・創業件数
- (2)中小企業の生産性向上、事業承継の推進
 - ・先端設備等導入計画認定件数
 - ・事業承継、M&Aの承継企業数
 - ・DX導入企業数
- (3)若者の雇用創出・拡大につながる企業誘致
 - ・本社機能等やIT関連企業の誘致による雇用創出数
- (4)ロボット・自動車などリニアディング産業の振興
 - ・市内ロボット関連産業の売上高
 - ・市内ロボット関連産業の雇用者数
 - ・連携大学院輩出人材人数

(5)風力発電関連産業の総合拠地の形成

- ・響灘地区総合拠点の産業用地利用率
 - ・響灘地区総合拠点利用ファーム数(予定含む)
- (6)脱炭素社会の実現に向けたグリーン成長の推進
- ・再生可能エネルギー導入量
 - ・公共施設再エネ100%電力化達成率(響灘地区総合拠点の産業用地利用率)
 - ・響灘地区総合拠点利用ファーム数(予定含む)
- (7)北九州空港の大規模な集貨・集客
- ・北九州空港国際航空貨物取扱量
 - ・北九州空港利用者数
- (8)さらなる物流拠点化の推進・北九州港の利用促進
- ・海上出入貨物取扱量
 - ・コンテナ貨物取扱量
- (9)アジアに向けたビジネス展開や国際貢献
- ・アジアの環境人材育成のための研修員の受入数

1 定住・移住の促進

- (1)首都圏等からの大規模な人材還流
 - ・北九州市の魅力度
 - ・20～30歳代の社会動態の増加数
- (2)多文化共生に向けた環境整備
 - ・市民の多文化共生という言葉の認知度
 - ・本市での生活が暮らしやすいと感じている外国人市民の割合

2 観光・イベント等を通じた「関係・交流人口」の創出・拡大

- (1)本市にゆかりのある若者等への還流・定着促進
 - ・移業・兼業のマッチング件数
 - ・KitaOサポーター登録者数
- (2)都心部における交流人口拡大
 - ・小倉駅新幹線口年間集客数
 - ・北九州スタジアム集客数
- (3)観光客増に向けた取組
 - ・観光客数
 - ・うち宿泊者数
- (4)北九州空港の利用者数増に向けたさらなる路線の誘致・集客
 - ・北九州空港利用者数[再掲]

1 女性の就業促進

- (1)女性の活躍施策の充実
 - ・25～44歳の女性の就業率
 - ・ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数
- (2)ダイバーシティ経営モデルの構築
 - ・北九州イクボス同盟加盟企業数

2 子育てしやすいまち北九州

- (1)結婚・妊娠・出産・子育て・教育まで一貫した支援
 - ・待機児童の解消
 - ・保育所得待機児童数(10月)放課後児童クラブの利用を希望する児童の受け入れ
 - ・全国学力・学習状況調査結果平均正答率全国比
 - ・全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果が全国平均と同程度以上の項目の割合

1 都市ブランドの構築

- (1)シビックプライドの醸成
 - ・「本市が好き」と答えた市民の割合
 - ・北九州SDGsクラブの会員数
 - ・北九州SDGsクラブのプロジェクト数
- (2)安全・安心なまちづくりと住民による地域防災の充実
 - ・「安心だ(治安がよい)」と思っている市民の割合
 - ・防犯パトロール活動への参加者数
 - ・消防団員の充足率
- (3)文化芸術による創造都市・北九州の発信
 - ・文化芸術を「身近に感じることがある」と思っている市民の割合
 - ・海外作品来北撮影・ロケハン件数
- (4)感染症などに備え、安心して暮らせる地域共生社会の促進
 - ・介護ロボット等導入施設数
 - ・「北九州モデル」導入を含む職場改善件数

2 地域間連携によるまちの魅力のさらなる向上

- (1)開門連携
 - ・宿泊者、日帰り観光客の消費額
 - ・開門地域の観光客数
- (2)連携中核都市圏の推進
 - ・都市圏域内の観光客数

3 コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり

- (1)都市のコンパクト化推進や公共交通網の再構築
 - ・居住誘導区域における人口密度
 - ・公共交通分担率
- (2)都市のリノベーションの推進
 - ・空き家バンク登録物件数
 - ・空き家バンク成約件数
 - ・公共施設保有量
- (3)持続可能な地域商業拠点づくり
 - ・主要商業エリアにおける新規出店数
 - ・主要商業エリアにおける空き店舗率

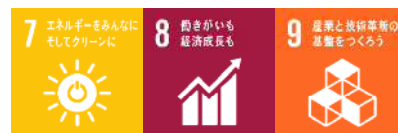
地方創生推進のための横断的な視点

- ① 国の施策への対応(特区・税制など)
- ② デジタル技術活用

3 基本目標・基本的方向及び具体的な施策

《基本目標》

I 北九州市に魅力あるしごとをつくり、安心して働けるようにする



- 数値目標**：
- ・市内企業への新卒就職者数：
4,106人（R1年度）→ 4,600人（R6年度）
 - ・市内新規雇用者数：
累計22,628人（H27～R1年度）→ 累計30,000人（R2～R6年度）
 - ・企業誘致による新規雇用創出数：
累計4,376人（H26～R1年度）→ 累計4,000人（R2～R6年度）

《基本的方向》

- 若者が「しごと」に求めるニーズを把握した上で、市内企業の魅力発信や仕事の体験、市内外の大学等との連携などにより、若者の市内企業への就職促進やU・Iターン就職の機会拡大を図る。
- 新しい価値を創造するスタートアップ等が起業しやすい環境整備を図り、地域発のイノベーションの継続的な創出を促進する。
- 少子化や経営者の高齢化等を踏まえ、地域経済を支える中小企業において、Society 5.0の実現を目指し、ロボットやIoT、AIの活用を通じたデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進することで、生産性向上と収益力強化を図るとともに、円滑な事業承継により、産業の活性化を図る。
- 市内企業をまち全体で応援する風土を育みながら、自然災害リスクの低さ、豊富な理工系人材、産業基盤や都市機能の充実、相対的に安価な地価など、本市の優位性を生かし、若者の雇用創出・拡大につながる企業立地に積極的に取り組む。
- 企業ニーズに沿うオフィスの提供を支援するとともに、リモートワークやサテライトオフィスを活用した働き方等を積極的に推進することにより、IT関連企業を誘致し、新たな雇用を創出する。
- 産業集積に適した用地を確保するため、重点的に企業立地を促進する区域や集積すべき業種を定め、本市の強みを生かした産業を積極的に誘致する。
- アジアに近く九州の玄関口である地理的特性に加え、24時間離発着可能な北九州空港や東九州自動車道、黒崎バイパス等の物流ネットワークといった恵まれた社会資本を活用し、交流人口の増加や、物流の拠点化につながる施策を進めていく。
- 本市の「ゼロカーボンシティ宣言」を機に、環境と経済の好循環により、本市の都市競争力を高め、エネルギーの脱炭素化とイノベーションの早期実現に取り組むためのグリーン成長戦略を策定・推進する。
- 我が国における近代産業発祥の地としてのものづくり基盤の集積や、循環型社会づくりのイニシアティブをとってきた強みを生かし、環境、新産業分野等の振興を加速するとともに、アジアに開かれた人材育成の拠点化を促進することにより、研究・開発部門を含めた、高い将来性のある雇用の創出・ビジネスチャンスの一層の拡大を図る。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

1 市内企業への就職促進、新たな働き手の確保

（1）若者の市内企業への就職促進

市内大学との連携によるインターンシップの推進や市内企業と若者の出会いの場の創出などにより、若者の就職支援を積極的に行う。また、留学生等に対しては、外国人材就業サポートセンターを通して、市内企業への就職支援を行う。小学生・中学生・高校生に対しては、早い段階からの職業観の醸成や将来の市内企業への就職に向けた取組を推進する。

【重要業績評価指標（KPI）】

- ・ 市内大学生の地元就職者数：
868人（R1年度）→ 1,200人（R6年度）
- ・ インターンシップ参加者数：
284人（R1年度）→ 400人（R6年度）
- ・ 市内企業へのU・Iターン就職者数：
累計987人（H27～R1年度）→ 累計1,200人（R2～R6年度）

（具体的な事業）

- ・ 学生をはじめとする若者の市内企業への就職及びU・Iターン就職の促進
- ・ 合同会社説明会や職場体験を通じた市内企業と若者の出会いの場の創出
- ・ 学生の市内企業への就職促進
- ・ 北九州市若者ミライ創造プロジェクト
- ・ 北九州ゆめみらいワークの実施
- ・ 発達の段階に応じたキャリア教育の展開
- ・ 北九州技能伝承の推進
- ・ 明日の公共事業を支える人材確保・育成事業
- ・ 留学生及び海外大学生等の市内企業への就職促進
- ・ 留学生支援ネットワークの運営
- ・ 農業者、漁業者の担い手対策事業

（2）中高年齢者の就業支援

高齢者就業支援センターを拠点として、カウンセリング、能力開発講座、民間ネットワーク等を活用した就業支援を実施するとともに、市外から移住する方のセカンドキャリア支援を行う。また、シニア層が働きやすい多様な求人を開拓し、高年齢者の就業率向上を図る。

【重要業績評価指標（KPI）】

- ・ 中高年齢者の就職者数：
累計3,543人（H27～R1年度）→ 累計3,500人（R2～R6年度）

(具体的な事業)

- ・中高年齢者の就業支援
- ・セカンドキャリア支援

2 地域経済活性化の推進

(1) 創業支援

産・学・官・金が連携したスタートアップ支援やリノベーションまちづくりの推進による都市型新産業の創出を図ることにより、日本一起業家に優しいまちづくりを推進する。

【重要業績評価指標 (KPI)】

- ・創業件数：
317件 (R1年度) → 毎年 340件

(具体的な事業)

- ・創業セミナー、窓口相談、専門家派遣の実施
- ・インキュベーション施設の運営
- ・中小企業融資【再掲】
- ・女性の創業支援
- ・創業機運醸成事業
- ・北九州市スタートアップエコシステム推進事業
- ・リノベーションまちづくり推進事業
- ・健康・生活産業振興事業

(2) 中小企業の生産性向上、事業承継の推進

ニッチトップ、グローバルニッチトップ企業など、本市の中核となる中小企業の経営力強化及び技術力・販売力の向上を図るとともに、デジタル化や自動化、AI活用等、デジタルトランスフォーメーション (DX) を推進し、市内企業の生産性向上を促進する。また、事業承継の潜在ニーズの掘り起こしから具体的な成果の創出までをトータルでサポートすることにより、市内中小企業の円滑な事業承継を推進する。

【重要業績評価指標 (KPI)】

- ・先端設備等導入計画認定件数：
151件 (R1年度) → 累計 270件 (R2~R4年度)
- ・事業承継、M&Aの承継企業数：累計 10社 (R2~R6年度)
- ・DX導入企業数：累計 110社 (R2~R5年度)

(具体的な事業)

- ・デジタルトランスフォーメーション推進関連事業

- ・ 事業承継・M&A 促進化事業
- ・ ビジネスチャンス拡大支援事業
- ・ 中小企業融資
- ・ 先端設備等導入計画（固定資産税ゼロ特例事業）
- ・ 中小企業技術開発振興助成金
- ・ 中小企業人材確保支援事業
- ・ オンリーワン企業創出事業
- ・ 中小企業支援センター特定支援事業
- ・ 新型コロナウイルス中小企業経営総合相談事業
- ・ 国際競争力強化支援事業
- ・ 中小企業海外展開支援助成金
- ・ サービス産業振興事業
- ・ 学術研究拠点推進・産学連携研究開発支援関連事業

（3）若者の雇用創出・拡大につながる企業誘致

企業ニーズに対応したオフィスやリモートワークなどの新しい働き方を推進することで、研究開発分野等の本社機能等の移転を進めるとともに、IT関連企業の地方拠点強化に向けて、若者、特に大学生が希望するオフィスでの仕事の受け皿として、本社機能等やIT関連企業の誘致を強化する。

【重要業績評価指標（KPI）】

- ・ 本社機能等やIT関連企業の誘致による雇用創出数：
322人（R1年度）→ 累計1,500人（R2～R6年度）

（具体的な事業）

- ・ 本社機能等移転促進事業
- ・ IT関連企業の地方拠点強化
- ・ サテライトオフィス誘致促進事業

（4）ロボット・自動車などリーディング産業の振興

人口減少や高齢化による労働力不足の課題に対して、ロボット等の研究開発及び導入支援を推進する。また、次世代自動車産業を牽引する高付加価値部品産業の集積や自動走行に関する研究開発・実証の推進等により、産業振興の加速化を図る。

【重要業績評価指標（KPI）】

- ・ 市内ロボット関連産業の売上高：
1,522億円（R1年度）→ 2,290億円（R6年度）
- ・ 市内ロボット関連産業の雇用者数：
914人（R1年度）→ 1,042人（R6年度）
- ・ 連携大学院輩出人材人数：
52人増（R1年度）→ 毎年50人増（R2～R6年度）

(具体的な事業)

- ・ ロボットテクノロジーを活用した地方大学・地域産業創生事業
- ・ 先進的介護「北九州モデル」推進事業【再掲】
- ・ 自動運転関連産業推進事業
- ・ 高度専門人材育成事業
- ・ 航空機産業誘致促進事業
- ・ デジタル技術を活用した新ビジネスの創出
- ・ 都市型園芸農業推進事業
- ・ 農業のスマート化推進
- ・ 水産業の成長産業化

(5) 風力発電関連産業の総合拠点の形成

響灘地区が有する充実した港湾インフラや約 2,000ha の広大な産業用地を活かし、部材の製造や輸出入、港での風車の組み立てから洋上での設置工事、メンテナンス等、洋上風力に関する拠点機能を集積する風力発電関連産業の総合拠点の形成を推進する。

【重要業績評価指標 (KPI)】

- ・ 響灘地区総合拠点の産業用地利用率：30% (R1 年度) → 80% (R6 年度)
- ・ 響灘地区総合拠点利用ファーム数 (予定含む)：
1 案件 (R1 年度) → 5 案件 (R6 年度)

(具体的な事業)

- ・ 風力発電関連産業の総合拠点の形成
- ・ 響灘エリア誘致推進事業
- ・ 浮体式洋上風力発電の導入可能性検討事業
- ・ 再生可能エネルギー人材育成事業

(6) 脱炭素社会の実現に向けたグリーン成長の推進

2050 年の脱炭素社会の実現を目指し、環境と経済の好循環による本市のグリーン成長を推進するため、「エネルギーの全面的な脱炭素化と安価で安定的な供給体制の構築」及び「企業が行う技術開発の全面的支援と人材育成等によるイノベーションの早期実現」を図る。脱炭素社会への移行段階においては、低炭素なエネルギーの必要性が高まるため、既存の高効率火力発電の活用によるエネルギーマネジメントを推進する。

また、北九州エコタウンを中心として、リサイクル分野における技術イノベーションを推進する。さらに、再生可能エネルギー100%電力の活用により、廃棄物のゼロエミッション、リサイクル事業の脱炭素化を実現し、さらなる企業集積を図ることで、世界をリードする次世代リサイクル拠点を目指す。

【重要業績評価指標（KPI）】

- ・再生可能エネルギー導入量：
累計 396,616kW（R1 年度） → 累計 680,000kW（R6 年度）
- ・公共施設再エネ 100%電力化達成率：
0%（R2 年度） → 100%（R7 年度）
（響灘地区総合拠点の産業用地利用率）：30%（R1 年度） → 80%（R6 年度）
（響灘地区総合拠点利用ファーム数（予定含む））：
1 案件（R1 年度） → 5 案件（R6 年度）

（具体的な事業）

- ・脱炭素に向けた再生可能エネルギーの戦略的な確保
- ・脱炭素に向けたイノベーションの推進
- ・次世代エネルギーミックスの実現（地域エネルギー拠点化の推進）
- ・先端的水素社会づくり
- ・北九州エコタウン事業
- ・環境未来技術開発助成事業
- ・新規環境産業創出事業
- ・風力発電関連産業の総合拠点の形成【再掲】
- ・浮体式洋上風力発電の導入可能性検討事業【再掲】
- ・再生可能エネルギー人材育成事業【再掲】

（7）北九州空港の大規模な集貨・集客

航空貨物拠点化に向けて、滑走路延長を見据えた実績づくりのため、既存路線の維持や誘致、集貨促進を図り、貨物取扱量の飛躍的増大を目指す。

また、今後の旅客・貨物の需要増大に対応するため、空港機能の強化・拡大を図る。

【重要業績評価指標（KPI）】

- ・北九州空港国際航空貨物取扱量：
9.3 千トン（R1 年度） → 4.2 万トン（R6 年度）
（北九州空港利用者数）：
158 万人（R1 年度） → 200 万人（R6 年度）

（具体的な事業）

- ・北九州空港の利用促進
- ・北九州空港のアクセス強化
- ・北九州空港の機能拡充

(8) さらなる物流拠点化の推進・北九州港の利用促進

アジアに近い地理的優位性や充実した物流基盤を活用し、北九州港への新規航路誘致及び集貨活動を推進することにより、さらなる物流拠点化を図る。また、臨海部産業用地への企業誘致等に取り組むことにより、北九州港の利用促進を強化する。

【重要業績評価指標（KPI）】

- ・海上出入貨物取扱量：
98,600千トン（R1年次）→ 109,000千トン（R6年次）
- ・コンテナ貨物取扱量：
541千TEU（R1年次）→ 646千TEU（R6年次）

（具体的な事業）

- ・北九州港の利用促進

(9) アジアに向けたビジネス展開や国際貢献

アジア諸都市からのニーズが高い分野である環境や水など、都市インフラをハード・ソフトの両面からパッケージでまとめて輸出することにより、アジア諸都市とのネットワーク拡充及び地元企業の海外ビジネス展開支援を推進する。また、インフラ輸出促進のための環境・水処理施設等のOJT受入体制の整備により、アジアからの人材受入育成拠点の形成を図る。

【重要業績評価指標（KPI）】

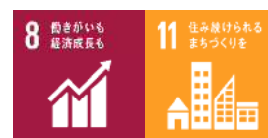
- ・アジアの環境人材育成のための研修員の受入数：
9,754人（延べ）（R1年度）→ 10,000人（延べ）（R6年度）

（具体的な事業）

- ・都市インフラ輸出のための包括的なプロジェクトマネジメントの推進
- ・市内企業の海外への販路開拓支援
- ・アジア諸都市との連携推進
- ・中国ビジネスサポート拠点整備事業
- ・都市インフラ輸出促進のための受入体制、人材育成の整備
- ・水ビジネスの国際戦略拠点を活用したアジア人材の受け入れ
- ・次世代エネルギーミックスの実現（地域エネルギー拠点化の推進）【再掲】
- ・先端的水素社会づくり【再掲】
- ・次世代国際資源循環・リサイクル拠点形成
- ・災害にも強い広域的・効率的な廃棄物処理システムの確立
- ・公害完全克服に向けた更なる環境改善への取組
- ・環境変化（異常気象等）に強い都市づくり（「環境レジリエンス」対策）
- ・環境教育・ESDのアジア展開

《基本目標》

Ⅱ 北九州市への新しいひとの流れをつくる



数値目標：・移住希望者数（お試し居住参加者数）：

56人（R1年度）→ 毎年50人以上

・外国人観光客数：

55.6万人（R1年次）→ 北九州市観光振興プラン更新時に新たな
目標数値を設定する予定（70万人（R1年次））

・北九州空港利用者数：

158万人（R1年度）→ 200万人（R6年度）

《基本的方向》

- 充実した都市機能や豊かな自然に加え、物価等の面からも非常に生活しやすい本市の環境をアピールするため首都圏等における広報を強化し、人材還流を促進する。
- 移住希望者の視点に立ち、本市に「住んでみたい」と感じてもらえるよう、雇用や住まい、教育等について総合的な環境整備を行うとともに、移住希望者向けの地方生活の魅力等に関する情報発信に取り組む。
- 外国人材の地域への定着促進やさらなる活躍による多文化共生の地域づくりを推進する。
- まちの活性化や将来的な移住に向けた裾野を拡大するため、将来を目指すまちづくりの方向性について新たにビジョンを示し、継続的な関心と交流を通じ、様々な形で北九州市を応援する「関係・交流人口」の創出・拡大を目指す。
- 小倉駅新幹線口エリアをはじめとした都心部のにぎわいを創出し、集客交流産業の活性化の成功事例を市内他地域への波及を図ることで、市全体のにぎわい創出につなげる。
- 海外への効果的なプロモーションや観光客の受入れ環境の整備、観光振興や大規模イベント開催などにより、インバウンド対策や市外からの集客増を強力に進める。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

1 定住・移住の促進

（1）首都圏等からの大規模な人材還流

メディアと協力して本市の魅力情報を首都圏等へ積極的に発信し、本市に来てもらうための仕組みづくりを行う。加えて、転勤者が家族を伴って本市へ来やすくなるための教育環境の整備や本市に住みたいと思う転入者を応援する仕組みづくりを推進することで人材還流につなげる。

新型コロナウイルスの影響で、若い世代の地方移住への関心が高まっていることなどを好機と捉え、リモートワークやワーケーション、副業・兼業など新しいライフスタイルへのニーズに的確に対応しながら、本市の「住みよさ」の情報発信や移住支援の取組を継続する。

【重要業績評価指標（KPI）】

- ・北九州市の魅力度：
全国 151 位（R1 年度）→ 全国 100 位（R6 年度）
- ・20～30 歳代の社会動態の増加数：
0 人（R1 年）→ 累計 450 人（R3～R5 年）

（具体的な事業）

- ・戦略的広報推進事業
- ・情報発信・取材協力事業
- ・定住・移住促進事業
- ・住むなら北九州 定住・移住推進の取組
- ・市内外企業従業者への入居支援
- ・本市で教育を受けたい教育環境の整備

（2）多文化共生に向けた環境整備

留学や研修など、増加する外国人市民の受入れにあたって、安全・安心な生活環境を提供するための基盤整備に取り組み、地域における多文化共生社会の実現を推進する。

【重要業績評価指標（KPI）】

- ・市民の「多文化共生」という言葉の認知度：
58.1%（R1 年度）→ 60%（R6 年度）
- ・本市での生活が暮らしやすいと感じている外国人市民の割合：
85.0%（R1 年度）→ 80%以上（R6 年度）

（具体的な事業）

- ・多文化共生推進事業
- ・多文化共生推進に伴うコーディネート支援

- ・外国人との共生社会にむけた環境整備事業
- ・留学生支援ネットワークの運営【再掲】

2 観光・イベント等を通じた「関係・交流人口」の創出・拡大

(1) 本市にゆかりのある若者等への還流・定着促進

テレワーク等により市内の仕事を複業・兼業する仕組みを構築し、K i t a Q フェス等を通じて得た首都圏の関係人口を本市への移住・就職に結びつけるとともに、本市の暮らしや食等を体験するワークショップを実施し、関係人口を拡大する。

【重要業績評価指標（K P I）】

- ・複業・兼業のマッチング件数：累計 60 件（R3～R5 年度）
- ・K i t a Q サポーター登録者数：
2,032 人（R1 年度）→ 3,100 人（R5 年度）

（具体的な事業）

- ・複業・兼業による関係人口づくり事業～北九州市と首都圏を結ぶ人材マッチング～
- ・戦略的広報推進事業【再掲】
- ・情報発信・取材協力事業【再掲】
- ・定住・移住促進事業【再掲】
- ・住むなら北九州 定住・移住推進の取組【再掲】
- ・新卒地元就職者等への入居支援（北九州市住宅供給公社）

(2) 都心部における交流人口拡大

北九州スタジアムを活用した大規模国際大会の開催やイベント等の実施、ポップカルチャー（マンガ・アニメ等）、ファッションをツールとした、まさに新たな集客誘引の流れをつくるイベント等の実施により、コロナ禍で萎縮しているにぎわいを取り戻し、都心部における交流人口の回復を図る。

【重要業績評価指標（K P I）】

- ・小倉駅新幹線口年間集客数：
440 万人（R1 年度）→ 440 万人（R6 年度）
- ・北九州スタジアム集客数：
205,133 人（R1 年度）→ 毎年度 210,000 人（R2～R6 年度）

（具体的な事業）

- ・漫画ミュージアム企画展等事業
- ・T G C 北九州開催事業
- ・COOL K I T A K Y U S H U 推進事業
- ・北九州マラソン開催事業

(3) 観光客増に向けた取組

大規模な国際会議やイベント、国内外クルーズ船の誘致等の推進により、ひとの流入・にぎわいの創出を図る。また、首都圏や国内外の企業及びひとに対して、本市の魅力を伝えることができるよう、観光プロモーションやメディアを活用した情報発信の一層の強化を図る。

重要業績評価指標（KPI）

- ・観光客数：

2420.8万人（R1年次）→ 北九州市観光振興プラン更新時に新たな目標数値を設定する予定（2,460万人（R1年次））

- ・うち宿泊者数：

192.9万人（R1年次）→ 北九州市観光振興プラン更新時に新たな目標数値を設定する予定（130万人（R1年次））

（具体的な事業）

- ・インバウンド誘致強化事業
- ・北九州トレッキングコース整備事業
- ・旧安川邸利活用事業
- ・観光振興推進事業
- ・MICE誘致推進強化事業
- ・北九州マラソン開催事業【再掲】
- ・大規模国際スポーツ大会等誘致事業
- ・世界遺産魅力発信事業
- ・クルーズ船の誘致
- ・勝山公園民間活力導入推進事業
- ・堺町公園魅力向上事業
- ・北九州市国家戦略道路占用事業
- ・新科学館整備運営事業
- ・黒崎応援プロジェクト事業

(4) 北九州空港の利用者数増に向けたさらなる路線の誘致・集客

航空ネットワークの充実強化により、北九州空港の利用者数を増加させ、インバウンドをはじめとした市内の交流人口を増やすことで、消費拡大やにぎわい創出を図っていく。また、さらなる空港利便性向上のためのアクセスの強化を図る。

【重要業績評価指標（KPI）】

- ・北九州空港利用者数【再掲】：

158万人（R1年度）→ 200万人（R6年度）

(具体的な事業)

- ・北九州空港の利用促進【再掲】
- ・北九州空港のアクセス強化【再掲】
- ・北九州空港の機能拡充【再掲】